

中学校 2年生 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

1 目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】新しい技術・家庭（家庭分野）（東京書籍）

【副教材】消費生活と環境 C（地域教材社）

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・「衣服の選択と手入れ」では、衣類の働きや目的に応じた着方を考え、場や季節、個性に合う衣類を選んだり、日本の衣文化について調べたりしてみよう。また、自分の生活経験を振り返りながら汚れや汚れ方などについてまとめ、適切な処理方法について学ぼう。また、素材にあった手入れや補修の方法を知り、実際に洗濯したりして衣類を清潔に長く使う方法を身に付けよう。
- ・「生活を豊かにするために」では、布を用いたものの製作を通して、計画の立て方や必要な技能などを学ぼう。また、既習事項の裁縫道具の名称や使い方などを復習し、布製品の製作に係る基本的な知識・技能を身につけよう。
- ・「私たちの消費生活」では、消費者としての自覚を持ち、商品の適切な選択や購入、計画的な金銭の管理ができるようになろう。
- ・「責任ある消費者になるために」では、消費者として社会や環境のことを考え、持続可能な社会に向けた消費生活が送れるようになろう。
- ・「生活の課題と実践」では、学習してきたことを生かし、持続可能な社会の実現を目指し、改善する点や課題はないか、自分の生活を見直し、課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践し、実践したことを発表しよう。
- ・必要な準備物をそろえ、実習に備えよう。
- ・使用した用具の片付け、使用後の部屋の掃除など整理整頓を心がけ、次に使う人が使いやすいようしよう。
- ・実習では怪我をしたり事故が起きたりしないよう、安全に気を配ろう。

○家庭学習の例

- ・授業で学んだ衣生活・消費生活と環境に関する学習内容を生活の中のいろいろな場面で生かしてみよう。
- ・よりよい生活者となるためのアイデアや実践例をまとめよう。
- ・家族や地域の人々の生活の知恵や思いに触れる機会をもとう。

○定期テストへの取組の例

- ・技能の定着を図るために、計画的・継続的な練習を重ねよう。

3 評価について

観 点		
知識・技能 （何を理解しているか 何ができるか）	・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けたかどうかを見ます。	・課題への取り組み ・プリント、ワークの記述内容 ・テスト ・被服実習
思考力・判断力・表現力 （理解していること・ できることをどう使うか）	・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力が養えたかどうかを見ます。	・課題への取り組み ・プリント、ワークの記述内容 ・テスト
主体的に学習に取り組む態度 （粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する）	・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が養われたかどうかを見ます。	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・プリント、ワークの記述内容

4 学習内容について

月	テスト	単元	評価の規準	
4	1 学期 期末 テスト	■私たちの衣生活 ○衣服の選択と手入れ ・衣服の手入れ	【知識・技能】 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
5		○生活を豊かにするために ・持続可能な衣生活を目指して		
6				
7				
9				
10		2 学期 期末テ スト	■私たちの消費生活と環境 ○私たちの消費生活 ・消費者としての自覚 ・購入方法と支払方法 ・バランス良く計画的な金銭の管理 ・消費者トラブルとその対策 ・何を考えて決めますか～意思決定のプロセス	【知識・技能】 ・物資・サービスについて理解している。 ・売買契約の仕組みについて理解している。 ・購入方法や支払い方法の特徴を理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・商品（物資・サービス）の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・商品（物資・サービス）の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・商品（物資・サービス）の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
11				
12				
1		○責任ある消費者になるために ・消費者としてできること～権利と責任～ ・省エネルギーと持続可能な社会	【知識・技能】 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。 ・自立した消費者としての環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。	

2	学 年 末 テ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な消費生活を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立した消費者としての社会や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・ 自立した消費者としての社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ 自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ 自立した消費者としての社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。
3			